

# 令和5年度第4回日野市指定管理者候補者選定委員会 議事録

## 1 概要

日 時	令和5年8月10日(木) 13時15分から15時15分まで
場 所	日野市・生活保健センター2階 グループ活動室
出 席	(市民委員) 比留間委員長、増永委員、小林委員、亀山委員 (行政委員) 赤久保委員、竹村委員、設楽委員 (応募事業者) 公益財団法人 社会教育協会、B社
施設所管課	(地域協働課) 西山課長、滝瀬主任
事 務 局	(企画経営課) 松井主幹、永尾
傍 聴 者	なし
議 事	日野市東部会館の選定について ● 公益財団法人 社会教育協会 ● B社
記録作成	(企画経営課) 永尾
配布資料	応募書類一式、採点表等審査資料一式

## 2 要点録

### (1) 事務連絡

#### ○ 事務局

選定の点数(順位点)について補足説明。

### (2) 日野市東部会館の選定(所管:地域協働課)

#### ○ 施設所管課

施設の概要及び審査の際の重点項目などについて説明。

#### ■ 委員

使用料の値上げをすとの話で、残念。シルバーの割引もない。回数券もあるが、よく使う人のメリットがあまり見いだせていないので検討いただきたい。

#### ○ 施設所管課

シニア料金のような設定は確かでない。東部会館も老朽化が進んできて、大規模改修もあるので経費がかさむ。ご意見を踏まえ今後検討したい。

#### ■ 委員

東部会館は、今はどこが管理しているか。

○ 施設所管課

企業公社。

■ 委員

近くに石田環境プラザができたが、そことの連携はあるか。温水にする熱など設備上クリーンセンターとの関係はあるか。

○ 施設所管課

クリーンセンターの熱などは関係ない。

環境プラザの方は環境、ごみの拠点なので、利用目的が異なるため、特に今のところ連携はない。ただ、貸室など共通している部分もあり、今後検討したい。

■ 委員

石田環境プラザはどこが所管されているか。管理を委託などされているか。

○ 施設所管課

主管課はクリーンセンターごみゼロ推進課。受付は地元の団体に委託している。

■ 委員

大規模改修があって、令和7年に1年間休館されるとのこと。1年間休館したときに、どのような管理業務が指定管理者にあるのか。

○ 施設所管課

令和7年度に1年間改修のために休館を考えているが、年度の中で貸館が短期間でできる可能性はある。休館中は光熱水費の支払や必要な点検、問合せ対応についてお願いしたいと考えている。

■ 委員

令和6年度に設計や調査のための休館の予定はあるか。

○ 施設所管課

ない。

■ 委員

小規模修繕では追い付かない修繕も多数出てきているのでは、と想像する。大規模改修に含めて対応してしまえば済む部分もあろうかと思うが、事業者とのリスク分担として、企業公社さんが対応した大規模改修に近いような修繕の事例はあるか。

○ 施設所管課

昨年、ボイラーを1,400万円ほどかけて修繕している。プールを2ヵ月休館した。基本的には、令和7年度の大規模修繕で大きなものは全て終わらせたい。

■ 委員

休館の期間中、利用者のために近くの施設を紹介するとか、補助を出すとかは検討されているか。

## ○ 施設所管課

急な閉鎖であればそのような対応が必要になることもあろうかと思うが、早期に周知していきたい。周辺施設も修繕期間が重なる可能性もあると聞いている。対応を考えていきたい。

## (3) プレゼンテーション及び質疑応答（公益財団法人 社会教育協会）

### ◇ 社会教育協会

提案内容について説明。

### ■ 委員

日野企業公社が今は指定管理していると思うが、御社が管理されていることの記載がある。どのくらいされているのか。

### ◇ 社会教育協会

全体としては企業公社だが、プールの管理について下請けというかたちで請け負っている。ほかに機械の管理運営については専門事業者も別に下請けとしているが、プールの管理運営については全面的にお任せいただいている。

### ■ 委員

受付には、事務の受付とプールの受付がいるが、それぞれは。

### ◇ 社会教育協会

会館の貸館の受付などは企業公社のスタッフ。プールの受付の券売機のところでの対応はシルバー人材センターの方が多い。

当社からはプールの監視員が40名から50名ほど在籍している。

### ■ 委員

今後指定を受けたら受付までされる、ということで、人員体制が不安だが、どのように対応されるか。企業公社の現任の方を継続して雇用するなどは考えられるか。

### ◇ 社会教育協会

管理業務の方を担当されている方については、ご希望があれば継続して雇用したいと考えている。

### ■ 委員

収支計画で、様々事業をやっていく予定となっていながら、その収入が記入されていないが。

### ◇ 社会教育協会

自主事業の収入については、費用設定が民間のプログラムの設定と差があると考えている。自主事業のプログラムを提案させていただいているが、参加費の設定は今後協議のうえで設定できればと思い、今回は記載を入れていない。

### ■ 委員

事業計画書にある組織体制について、ご説明をいただきたいと思う。

新たにお雇いになるスタッフなのか、自前で雇用されている方を再雇用などされる体制なのか、これからどんどん雇わなければいけないのか、現状と今後について教えていただきたい。

◇ **社会教育協会**

受付の方にシルバー人材センターの方が4名ほどいる。今後一体で指定を受ける場合には、プールと併せて人員を確保することとなるため、監視業務のための人員を何十人と確保しなければならない、という状況ではない。現状の再雇用も含めて確保は問題なくできていると考えている。併せて、一体化することによって人員の削減、経費の圧縮もできるだろうと考えている。

■ **委員**

新規に雇う必要はない、ということで理解した。

◇ **社会教育協会**

現在も、監視員がプールサイドにいるなか、既にお出迎えのところも手を伸ばしたいと提案しているところ。そのため、大きな影響はない。

■ **委員**

地元の方々のための利用ということで、13ページに地域関係機関との連携計画とあるが、東部会館を中心に自治会などの交流の記載がある。自治会との連携は、現在どのような事をされているか。

◇ **社会教育協会**

東部会館に関する事業について自治会からご依頼いただくことは経験としてはないが、自治会のお祭りのプログラム提供などはしている。また農家の方が多い地域なので、あの地域を使った田植えやブルーベリー狩りなどの周辺での関係プログラムでの連携経験はある。我々が指定を受けた際には、挨拶も兼ねながら東部会館としてのプログラム提案をしていきたい。

■ **委員**

収入について、割引などを実施される。収益をどんどん公の施設で上げていく、ということがいいのかどうか、ということは大事なところだと思う。ただ、今後、利用料金や指定管理料が潤沢にあって、活動ができるようになったときには、自主事業の展開を拡大していく余地はある、ということでよいか。

◇ **社会教育協会**

そのとおり。利用率の低い施設がある。そうした施設を使ったプログラムを提供することで部屋の利用率を上げていくことができる、と考えている。利用が潤沢になり、費用面でも還元できるようになればより豊富な自主企画を展開してければと考えている。

■ **委員**

あってはならないことだが、管理や再委託をされてきた中で、プールで事故が起きかけた、起きてしまったときの対応として、防げた、重大にならなかったといった事例があったら教えていただきたい。

◇ **社会教育協会**

東日本大震災の際、「浮いて待て」を守って助かった方がたくさんいらっしゃる、という話がある。ただ一方で、溺水は一瞬の出来事、流れ星を見つけるようなもの、と言われている。その為、私たちはお客様一人ひとりの様子を、お出迎えから事細かに見ている。そうでないと防げない。脳血管障害や心疾患など、直接に溺れる事とは関係なく倒れられても対応できるよう、事細かな情報をインカムで最大5名の監視員で共有している。

## ■ 委員

石田環境プラザとの連携は考えているか。

## ◇ 社会教育協会

石田環境プラザとの連携は今のところ具体的には考えていないが、日野高校が近隣にあるので、石田環境プラザを自主学習スペースとして利用されていることが見受けられる。そうした高校生が帰宅時に立ち寄ってもらって使ってもらえるようなスペースを提供できたらと考えている。

なぜなら、災害時、地域の方はお勤めに出られているなか、地域の高校生と日頃の関係性をもって、地域に目を向けた活動に繋がられることを期待している。そうした意味での連携を考えている。

## ■ 委員

高齢者や子ども、障害者などに配慮した案内やサービスを考えられていれば教えていただきたい。

## ◇ 社会教育協会

認知症割合も高まっているなか、利用が難しくなっている方もいる。監視スタッフ以外にも事務スタッフもあり、チケット売り場からお客様との挙動を監視委員事務スタッフと連携して対応している。障害者に関しては、最近だとマイノリティの方のご利用も多いなか、更衣室として清掃スペースを臨時に利用いただくなど、摩擦の起きない利用をしていただいている。

また、施設のバリアフリー化が一部されていない。そういった方も利用できるように、歩けない方がいらっしゃる際は裏口から案内することやシャワーも含め、臨機応変に対応している。

## ■ 委員

監視員について、何か採用に当たって資格を有することを条件としたりされているか。

## ◇ 社会教育協会

日本赤十字社の水上安全法をメインとした資格をお持ちの方を優先して雇用している。各大学のライフセービング部と交流をもって、そういった人材が供給できるようにしている。

## ■ 委員

市の指定管理のご経験は。

## ◇ 社会教育協会

みなみだいら児童館ぶらねっこの経験が17年ほどある。

## ■ 委員

自主事業に色々書かれているが、すべて実際に行ったことのある事業か。

◇ **社会教育協会**

文科系の教室は日野社会教育センターで実績がある。

スマートフォン教室は行ったことがないが、社会福祉協議会さんと連携を取って湯沢福祉センターで別に行っている。

水に関するプログラムはすべて実績がある教室。

■ **委員**

個人情報の管理の方法と、漏えい防止のために心がけていることは。

◇ **社会教育協会**

警備業の資格を取得した団体は個人情報の一定の管理が義務付けられている。2015年の取得以来、金庫など、規格に応じた取扱いとなっており、持ち出し等は禁止されている。

■ **委員**

提案事業が4項目あるが、御社の方で全て考えたプログラムか。

◇ **社会教育協会**

企業公社さんと日常管理業務を行っている中で考えられたもの。提案事業①の障害者免除も、企業公社さんの方がされている。

■ **委員**

新たに始めること、というわけではなく、ベースがあってやっていることか。

◇ **社会教育協会**

そうなる。

■ **委員**

防災の話として、過酷な状況、例えば冬、雨、夜、といった環境で震災が起きた、という場合どのように対応されるか。

◇ **社会教育協会**

夜ではなかったが、そうした状況を想定した訓練を行ったことがある。近隣の新井公園まで誘導訓練をした。

■ **委員**

夜間についても考えておくべきで、停電もあるので、自立灯などの用意を考えてもいいかもしれない。

(4) プレゼンテーション及び質疑応答 (B社)

◇ **B社**

提案内容について説明。

■ 委員

自主事業について、費用がかなりかかっている。実現性はどのくらいか。

◇ B社

100%に近い。近隣施設の参加状況を踏まえて、参加人数、単価を踏まえて、費用と収入の積算をした裏付けのある計画となっている。

■ 委員

東部会館はかなり古い施設。いかに効率的に、安心してやっていけるか、ということが大事。新しいことをどんどんやっていくと、今まで使っていた人が大丈夫かな、圧迫をうけないか、ということを心配している。

◇ B社

計画の中で、諸室の稼働率を分析し、稼働率が低い部屋を使う計画となっている。既存の利用者を圧迫しないよう、計画している。

■ 委員

費用面を見ていると、東部会館の指定管理料の計上の仕方が、R4が●万円くらい。R6が●万円と●%以上のアップとなっている。日野市の財政状況を考えると、上り幅が大きいと感じた。その辺りについて、効率的な管理と言えるか、ということの検討についてどのように考えているか。

◇ B社

指定管理料の値上がり部分は大部分が光熱水費。平成30年度の施設の利用量と、最新の高騰したエネルギー価格で算出したもの。その段階で、令和4年度の実績と差が出ている。削減策としては、一定の対策により、理論値で年間では一定額の削減につながると見込まれている。現実的な光熱水費の見立てを行った上で、そこからさらに削減策を行っていくものとなっている。削減策も含めて主管課との協議の余地はあると考えている。

■ 委員

予約の仕方について。どのようにお考えか。

◇ B社

施設予約システムが今使われている。現状の予約の方法、条例で定めている期間などを踏襲していくと考えている。

■ 委員

立川市など、他市とは違うシステムと思うが、他市との手法と比較しての検討結果か。

◇ B社

自治体側に予約のルールがあって、それに沿ってやっていく。よくあるのは個人利用の受付で、ご希望に沿えない場合など、他の施設のやり方、お客様にあった最善の方法を考えて運用していきたい。

■ 委員

収支計画書について、令和4年度、令和5年度と令和6年度以降の収支計画書が乖離している、という点。光熱水費のアップとのことだが、人件費などを比較してみると、光熱水費の上昇分は若干に留まる。光熱水費の値上がりだけではない要素が盛り込まれているだろうと想像されるが、いかがか。

#### ◇ B社

人件費について、光熱水費の高騰に加え、現状、一部委託で出されている部分をすべて内製化することを計画している。委託費から人件費に移っている。かつ、最低賃金の上昇分を見込んでいる。この点が、人件費に差が出ている大きな要因。

#### ■ 委員

おそらく、収支計算書に記載された指定管理料（要望額）は平準化して出されている。一方その他収入としては、自主事業の収入となると思われるが、支出の方の乖離部分の計上になるのでは、と考えている。

言いたいこととしては、様々なサービスの提供は大事。利用料金は、ほとんど固定されているが、令和7年度から駐車場収入が入ってきて上がるかもしれない。とすると、収支のバランスとして、毎年の指定管理料がいっさい動かなくなっているのが、なぜなんだろうと思う。事業者側としてのメリットは感じるが、市側のメリットをどのように考えるか。

#### ◇ B社

指定管理料が5年間定額である、ということについては、人件費も含め経費が年々上昇していくと予測している。その分を一定にすることで、値上がりしていく分のリスクを弊社が企業努力として、債務負担のような形で負担することが提案の内容になっている。

#### ■ 委員

事業者が提案する事業として、令和6年度に●万円ほどが計上をされているが、どのくらいの単価や頻度を想定した計上か。

#### ◇ B社

稼働率について。教室の見立てとして、基本的にその他の事業も含めて、収入と支出が同額になるような積算、建付けとなっている。教室は、現状約●円の単価となっている。そのくらいの単価で想定している中で、全体の参加者数の予定として、●人弱程度の見立てを行っている。こちらは定員、キャパシティから設定している。ふれあいホールや泉体育館の参加率を含めて参加者数を想定している。決して無理をしている数字ではないと考えている。

#### ■ 委員

空き施設を活用して事業収入が上がっていく、という考え方の中で、稼働率100%になってしまうと事業収入が上がらなくなってしまうと思うが、そうした場合は、どのように考えておられるか。

#### ◇ B社

ホールはいっぱいになってしまう。一部稼働率の記載をさせていただいたが、集会室や料理実習室など、もともと稼働率が低い所を積極的に使っていくことで、空き時間を有効に活用しながら、上限に



達しないことを確認検証して計画している。

■ 委員

様式⑧要員配置計画書に、第三者委託先として、その他の維持管理、保守点検業務とあるが、御社が委託しなければならない想定している主な業務を3つほど挙げていただきたい。

◇ B社

主な部分は機械警備と、電気、消防の点検、駐車場の管理業務の委託についても発注予定。電気、消防の設備点検は地元の事業者様の方が、緊急時も含めて対応が期待できることから、そうした事業者とも連携していきたい。

■ 委員

受付案内、総合管理、お客様対応、プールの監視などを御社で請け負って、エレベーター点検、非常灯の点検などを外部委託されるイメージか。

◇ B社

はい。

■ 委員

また、人員ポストの1~2名や3~4名など、要員配置に幅が持たれているが、これは繁忙期の対応を指しているということで良いか。

◇ B社

各ポジションで利用者の増減に合わせて前後するもの。清掃員については、集中的に清掃するときに増とするなど、日々の中での増減の対応がある。

■ 委員

消防点検は積算に含められているが、市の業務では。最終的には決まった際に主管課と調整、確認いただくことになろうかと思う。

市との月例会議が記載されているが、他自治体などではどの程度行っているか、実績を教えてください。

◇ B社

月例会議は、市内ではある施設について所管課としている。毎月。

他自治体でも、基本的には毎月が多いが、2ヵ月に一回行っている自治体もある。

■ 委員

例えば車いすの利用の方がいらっしゃった際の対応はどのようにされるか。

◇ B社

スタッフがプールに繋がっている部屋を一時的に通す、タイヤを拭いてプールサイドでも使えるようにするなど、今の施設の構造でなるべく多くの方にご利用いただけるように柔軟に対応していきたい。

## ■ 委員

高齢者や子ども、障害者に配慮した案内、サービスについて考えていることがあれば教えていただきたい。

## ◇ B社

高齢者の方に対しては、ご自身でのサークル活動の募集など、入口に申し込みチラシが貼ってあるが、インターネット活用が難しい実態が見て取れるので、弊社 HP の活用などをいただき、募集活動に協力をさせていただくなどしたい。開催する教室も、どの年代も参加しやすいイベントの開催などを計画していきたい。

プールについては、子どもの利用が少ないことが見て取れる。子供向けの教室を週 1 回で計画している。

## ■ 委員

子どもや障害者などへのプールを利用される際の安全管理はどのようにされるか。

## ◇ B社

段差など事前にお声が気をいただければ、無理のない範囲でお手伝いをさせていただきたい。

それ以外にも、掲示物が見づらい、読みづらいなどもあるかと思うので、ピクトグラムを使う、ふりがなをふるなど誰でも使いやすくなるようサポートをしていきたい。

## ■ 委員

市から別の施設の委託を受けられているが、サービス改善、利用率向上などでアピールできることがあれば。

## ◇ B社

弊社オリジナルの運動プログラムの動画配信など、施設の役割を止めることなく続けてきた。

それ以外にも多数教室を開催する、皆様と一緒に盛り上げてこれたと思っている。スポーツだけでなく、東部会館のような文化施設の実績を踏まえたうえで、利用の促進、コミュニティ活性をしていきたい。

## ■ 委員

防災について、防災 LAN は上がっているが、開館時間からかなり遅い時間までされている。例えば、冬の雨の日で、夜停電になった場合の対応は。

## ◇ B社

プール利用者の方と、諸室を利用されている状況で変わると思われるが、停電の場合、まずは利用者の方へのお声がけにより落ち着いていただき、安否確認をすること。諸室利用者などすぐに外に出られる方は安全に退館いただくことを案内していきたい。

プールの方は、まずプールから出て体をふいていただき、着替えるところ。安全確保をしていただいたうえで退館していただく。

## ■ 委員

暗いと思うが、可能か。

◇ **B社**

懐中電灯などの常備は当然必要と考えている。それ以外にも、明かりについては、スマホなど、身近なもので多く対応が可能となっているので、そうした利用をしながら対応をしていきたい。

■ **委員**

御社の中で、スマホを使うことのコンセンサスが必要だと思うが、そうしたノウハウが既にあるか。

◇ **B社**

停電になった際は非常灯がつくと思われる。BCPの中に、位置づけがあったかと思う。利用者の方を最優先にする、という根幹的な考え方の中で対応することになるので、その場で携帯を使うということのコンセンサスはあると思われる。

BCPの中に対策として不足があった場合は、それを追記していきながら対応していきたい。

■ **委員**

避難訓練などはされているか。

◇ **B社**

年1回から2回、避難訓練を実施することが決められている。近隣の組織や消防などと連携してされている。

■ **委員**

先ほどの夜+雨+冬、という条件の中で避難訓練をする予定はあるか。

◇ **B社**

今の計画にはないが、いただいたご意見をもとに、参考にさせていただきたい。

■ **委員**

是非とも考えて、検討いただきたい。

(5) 主管課質疑応答（地域協働課）

■ **委員**

B社の方の話を聞いていて、予算の考え方が事業者ごとにバラバラ。その辺の考え方を決めてもいいのかなと思った。お金を積めばいいことはできる。ただ、限られた予算でやる必要があるので、公募の条件として予算を最大プラス2割まで見ると明文化するなど、今後検討していただきたい。

○ **事務局**

施設の性格にもよって変わってくるので、一律いくらです、というのは決めにくいと考えている。大枠として制度は決めているが、各部署各施設のなかでどう考えるか、ということかと思う。

指定管理、というのは箱の運営。事業の展開に目が行っている部分があるかなと思っている。施設の利用というよりは、事業者の営利行為に繋がることになっていくことの是非について、今後指定管理

者のガイドラインの中で整理していくべきかと考えている。

使用料等のガイドラインもあるので、それを合わせて整理していくべきかと考えている。

あまり大きな金額を乗っけてくるというのは、なくなってくるのではと思っている。

■ 委員

今年は、そこは採点で、ということか。

○ 事務局

おっしゃる通り。

■ 委員

B社提案の指定管理料（要望額）は主管課として実現可能なのか。

○ 施設所管課

予算が担保されているものではなく、協議によるところ。結果として提案と全然違う、ということはある得てしまう。

■ 委員

どちらも捨てがたい面はあるかもしれない。

片や現場のリアルを良く知っている方、一方は多数の実績がある事業者。

市民目線で見ると、どっちがいいのか、悩んでいる。市側の目線としても施設の管理運営について新しいノウハウをもって維持いただけるか、というのも大事な視点。大変難しい。どちらで採点をつけるのか、ということ割り切るしかないのかなと思っている。予算書が決まってからできることが決まるので、どちらの事業者になっても金額は変わらないと思う。箱モノとしての管理形態はほとんど変わらないことが想定される。

○ 施設所管課

皆様と同じ悩みがある。施設としての特徴はプール、そのプールで何が大事か、というと安全管理。B社さんは間違いのないノウハウを持っている。一方で、実際に社会教育協会も現にプール管理運営されていて、市民の方にも評判がいい。

■ 委員

公募の際に、数社には声をかけているのか。

○ 施設所管課

何社か、見積もりを頂くために声をおかけした中に両者入っている。

■ 委員

弱者に対してのアプローチは社会教育協会からもあるが、一般の方への対応が薄いようなイメージがある。

■ 委員

提案事業と自主事業の実現性は大事。

■ 委員

市の都合でいろいろとやっていただきたい部分というのが出てくる可能性はある。そうしたときに話をしやすい方が良いが。

■ 委員

消防設備について、交流センターのときには、市でやっているという記述があった。ただ、募集要項上こちらにはない。

○ 施設所管課

交流センターは平山季重館など複合施設があって、市でやっている場合がある。

■ 委員

法定点検など、二重にならないよう調整が必要かもしれない。建築営繕でまとめてやっていると思う。確認いただきたい。

(6) 採点結果及び意見交換

<採点>

○ 事務局

採点の集計を終えたので、結果を発表する。

公益財団法人 社会教育協会 848点 80.8%

B社 816点 77.7%

順位点は次のとおり。

社会教育協会 9点

B社 12点

指定管理者候補者は、60%を超え、順位点が低い公益財団法人社会教育協会となった。

■ 委員長

報告があったように、指定管理者候補者とするのは公益財団法人社会教育協会となった。

■ 委員

結果の公表は。

○ 事務局

ご意見をいただいたものを報告書としてまとめて、各委員の合計点数は公表されるが、細目は公表されない。

■ 委員

落ちたところへの配慮が必要。

○ 事務局

選定基準通り、公表の仕方として、落選した事業者の内容は一定の配慮をする必要があるが、基本的には公表する。

○ 事務局

落ちた方の事業者の機微に触れる情報は開示できない、また個人情報も同様。

■ 委員

提案書の内容は出るのか。

○ 事務局

情報公開請求に過去対応してきた中では、提案書の内容部分は法人のノウハウになるためほぼ墨塗となる。

■ 委員

実績を評価していくことが大事かなと思っている。

これからそれぞれの施設で実績として挙がってくるのが大切。

■ 委員

市民にとって比較材料になるのかもしれない。

ただ、2者出て下さった、文書上でも落ちた方への配慮を。

大変採点に皆が苦労した。

■ 委員

甲乙つけがたい提案であった。

今使っている施設をどう管理運営されていきたいか、という将来ビジョンを日野市民がどのくらい求めているか、ということを探っていく必要がある。そこに到達するために派手なアクションが必要かどうか、というのは考え方のところ。

社会教育協会さんは今こう使っていて、こういう状況で、来年こうだけどうだろう、ということをしっかり考えを持たれているな、と思った。

ただ、どちらも素晴らしい事業計画であった。

ふれあいホールは新しい施設なので、派手なアクションもできたし必要だと思うが、30数年やってきている施設でもどうか、というと、そこは違う視点があってもいいのかなという感じはした。

■ 委員

社会教育協会さんは現場を良く知っているという印象があった。もしかしたら B 社さんは見ていないのかな、と思った。車いすの対応の説明のところで、その差を感じた。本気で取りに行くのであれば、現場をみて、施設が抱えている課題を感じて、どう対応しようかと考えるところから説得力が違ったところかなと思った。

■ 委員長

では、8月22日の前までに報告書の確定稿を作る、ということでまとめをいただきたい。

■ 委員

最後に議事録について。議事録に個人の名前を記載されている。個人の名前を特定されないことを前提に発言しており、また2種類の議事録があることがおかしい。至急削除して欲しい。

確認に当たっても発言者はわかっているので、必要はない。

また、電子データであれば悪意があれば転送もできる。企画経営課の中で他の職員も見れてしまう。

■ 委員

メールには公表の際に消す、ということは書いてあるが、最初から記名だと危険性はあると思うので、最初から匿名化した方がいいのかもしれない。

○ 事務局

議事録の確認については、記憶を呼び起こすために便利という趣旨で記名にてお配りしていたが、危険性という観点から委員名を伏せてという方が良くということなので、今後そのように対応させていただきます。

○ 事務局

補足して、公表用のものをもって確認する、というご趣旨かと思う。先ほどもあったとおり、落選した方の事業者の情報も削除した状態でご確認いただくことになるので、併せてご了承いただきたい。

■ 委員長

では、そのような対応でお願いしたい。

(7) 次回の説明

○ 事務局

1案件だと想定していたが、台風が15日に影響がある恐れがあり、またそうすると14日に内部的な準備態勢が必要になる恐れがある。14日、15日に予定していた案件を17日に繰り延べさせていただいて、そこに3案件を行うかたちで想定している。

17日の13時15分から日野市役所4階庁議室ということでご案内しているが、終了時間は延長させていただくことをご了承いただきたい。

■ 委員長

では、本日の案件はすべて終了しました。ありがとうございました。

(閉会)